

MSUB 留学報告

文学部英語英米文学科 4年 稲谷香子

初めての海外

私にとって、今回が初めての海外で、初めての留学経験でした。ずっと英語の勉強のために留学することを目標にしていたので、留学は本当に楽しみで、でもそれと同じくらい不安もありました。実際アメリカでの9か月間は、初めて経験することばかりで、言語の違いもあり、戸惑うこともありましたが、しかし現地の人たちはみんな優しく、多くの人に助けられ、充実した生活を送ることができました。

ホストファミリー

大学が始まる前の約3週間、語学研修で来たみんなと一緒に、ESLプログラムという研修を受けました。その間、ホストファミリーの家にホームステイさせてもらい、ホストファミリーのHanson家には、それから留学中はたくさんお世話になりました。Hanson家は、ホストマザー、ファザーと、5人のブラザーのとても賑やかな家族でした。大学が休みの間もステイさせてもらって、アメリカの行事を一緒に過ごさせてもらい、アメリカの家族を経験できてとても楽しかったです。特に5人のブラザーとは、たくさん遊んで、その中で会話を続けたのが、私の英語力の向上の手助けになりました。



大学生生活

9月から4月までは、大学の寮に住み、授業を受けました。授業は、前期は県立大学の単位と互換できそうなものを選び、後期は県立大学では受けられないような、自分の興味のある授業を取りました。ほとんどの授業で宿題と予習があり、課題に追われることがよくありました。アメリカの学生は発言力が高く、疑問に思ったことは手を上げて質問する生徒が多く、驚きました。私は授業についていくのが精いっぱい、特にグループワークのあ

る授業では、あまり発言できず落ち込むこともありましたが、それでも、今日はこの前よりも多く発言できるようにしようと、目標を立てて授業に挑み、結果、グループのメンバーとも仲良くなれました。

交流

アメリカでは、多くの人と出会い、交流することができました。私のルームメイトは、優しくて頼りになるアメリカ人の女の子で、よく買い物に連れて行ってくれました。休みの日にはサウスダコタ州にある実家に遊びにも行き、家族ぐるみで親切にしてくれました。大学には国際学生も多く、仲良くなる機会が多かったのも国際学生でした。一緒に出掛けたりスポーツをしたり、休日は一緒に過ごしていました。他には、クリスチャンの友達がキリスト教について教えてくれたり、友人とのディナーに誘ってくれたり、交流の出助けをしてくれました。友人たちとの交流を通して異文化に触れることができ、良い経験になりました。



旅行

留学中は、二度旅行に行きました。冬休みにシアトルとバンクーバー、春休みにロサンゼルスに行きました。そこで感じたのが、同じアメリカでも、場所によって全く異なっているということです。私のいたモンタナは、田舎で自然豊かな場所でしたが、大都市はビルが立ち並ぶ栄えた所で、人も文化も違うように思いました。海外から語学を学びに来ている人も多いと感じました。有名な観光地に訪れ、楽しいひと時を過ごしました。この経験から、私の知らない世界をもっと見てみたいと思うようになり、留学が終わっても、積極的に海外を訪れたいです。



最後に

この留学で、英語力の向上はもちろんありましたが、英語に対する意識が大きく変わりました。今までは英語は勉強するものだというに認識だったのですが、留学をして英語で会話をする日常におかれ、英語が私にとって異文化間でのコミュニケーションツールになりました。英語を話すことができれば、自分の世界は大きく広がるのだと気づきました。また、異文化に触れたことで自分の価値観も大きく変わりました。一度日本を出て、外から物事を考えるのは大事なことだと思います。これからも自分の英語力を高めて行きたいし、もっといろんな場所を訪れてみたいです。最後に、支援してくださった方々、本当にありがとうございました。